

## Ⅱ 調査結果の概要

※ 文中の数字は四捨五入している部分があるため、  
( ) 内の内訳と合計が合わない場合がある。

### [学校調査]

#### 1 大 学

##### (1) 学 校 数 (表1)

学校数は、778校（国立86校、公立95校、私立597校。通信教育のみを行う学校（私立6校）を除く。）で、前年度より5校増加している。

表1 大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成12	649	99	72	478	73.7
17	726	87	86	553	76.2
18	744	87	89	568	76.3
19	756	87	89	580	76.7
20	765	86	90	589	77.0
21	773	86	92	595	77.0
22	778	86	95	597	76.7

##### (2) 学 生 数 (表2)

学生数は、288万7千人（男子170万2千人、女子118万6千人）で、前年度より4万2千人増加している。

また、学生数のうち学部学生は255万9千人、大学院学生は27万1千人〔修士課程〔修士課程及び博士前期課程（医・歯学及び獣医学を除く一貫制博士課程を含む。）以下同じ。〕17万4千人、博士課程〔博士後期課程（医・歯学及び獣医学の博士課程を含む。）以下同じ。〕7万4千人、専門職学位課程※2万3千人〕、専攻科・別科等の学生は5万7千人となっている。

※平成15年4月創設の高度専門職業人の養成を目的とする専門職大学院の課程

- ① 学生数を設置者別にみると、国立62万5千人（学生数の21.7%）、公立14万3千人（同4.9%）、私立212万人（同73.4%）となっている。
- ② 女子学生の占める割合は41.1%で、前年度より0.4ポイント上昇している。

表2 学生数(大学)

区 分	計	うち学部	うち大学院		うち女子	社会人 a	女子の占 める比率	国 立	公 立	私 立
			院 a	うち社会人						
	人	人	人	人	人	%	%	人	人	人
平成12	2,740,023	2,471,755	205,311	24,897	992,312	12.1	36.2	624,082	107,198	2,008,743
17	2,865,051	2,508,088	254,480	45,194	1,124,900	17.8	39.3	627,850	124,910	2,112,291
18	2,859,212	2,504,885	261,049	48,609	1,127,474	18.6	39.4	628,947	127,872	2,102,393
19	2,828,708	2,514,228	262,113	51,142	1,126,751	19.5	39.8	627,402	129,592	2,071,714
20	2,836,127	2,520,593	262,686	53,667	1,140,755	20.4	40.2	623,811	131,970	2,080,346
21	2,845,908	2,527,319	263,989	54,642	1,158,390	20.7	40.7	621,800	136,913	2,087,195
22	2,887,414	2,559,191	271,454	55,345	1,185,580	20.4	41.1	625,048	142,523	2,119,843

(3) 関係学科別学部学生の構成 (表3, 図1)

学部学生の関係学科別構成比をみると、「社会科学」が34.9%で最も高く、次いで「工学」(15.7%),「人文科学」(15.2%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「家政」、「教育」、「薬学」の比率は上昇してきているが、「社会科学」、「工学」、「人文科学」の比率が低下してきている。

(4) 専攻分野別大学院学生の構成

(表3, 図1, 図2)

大学院修士課程の専攻分野別構成比をみると、「工学」が41.5%で最も高く、次いで「社会科学」(11.1%),「理学」(8.2%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「工学」の比率は上昇してきているが、「社会科学」の比率は低下してきている。

大学院博士課程の専攻分野別構成比をみると、「医・歯学」が27.3%で最も高く、次いで「工学」(18.6%),「人文科学」(9.5%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「教育」の比率は上昇してきているが、「人文科学」、「社会科学」、「理学」、「農学」の比率が低下してきている。

大学院専門職学位課程の専攻分野別構成比をみると、「社会科学」が84.7%で最も高く、次いで「教育」(7.2%)の順となっている。

また、大学院学生のうち、「社会人」(平成22年5月1日において職に就いている者。ただし、企業等を退職した者及び主婦等を含む。)は修士課程では2万人(男子1万人,女子1万人)で、学生数に占める割合は11.6%,博士課程では2万6千人(男子1万8千人,女子8千人)で、学生数に占める割合は34.5%,専門職学位課程では9千人(男子7千人,女子2千人)で、学生数に占める割合は40.7%となっている。これを各専攻分野ごとに「社会人」の占める割合をみると、修士課程では「社会科学」が34.5%で最も高く、博士課程では「医・歯学」が50.1%で最も高くなっており、専門職学位課程では「工学」が(65.1%)で最も高くなってきている。

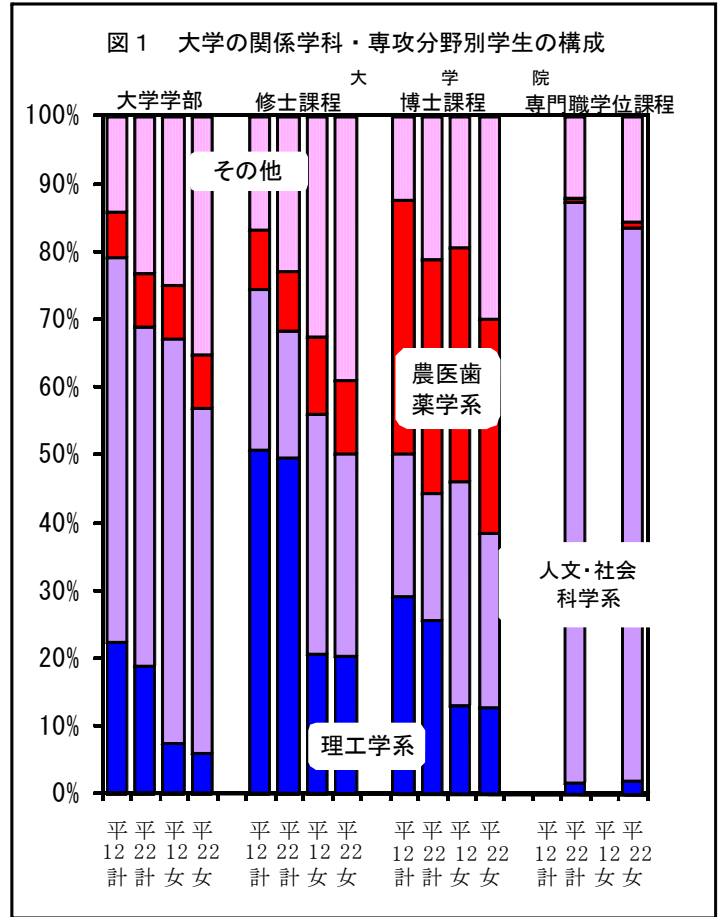


表3 関係学科・専攻分野別学生数の比率の推移 (大学・大学院)

(1) 学部学生

区分	関係学科別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	16.6	39.9	3.6	18.9	2.8	2.6	1.5	1.8	5.6	6.7
17	100.0	16.2	37.7	3.5	17.3	2.8	2.5	1.8	2.4	5.7	10.1
18	100.0	16.0	37.0	3.4	17.0	2.9	2.5	2.0	2.5	5.8	10.9
19	100.0	15.8	36.3	3.4	16.7	2.9	2.5	2.1	2.6	5.9	11.8
20	100.0	15.6	35.8	3.3	16.3	3.0	2.5	2.2	2.6	6.1	12.6
21	100.0	15.4	35.3	3.2	16.0	3.0	2.5	2.1	2.6	6.3	13.6
22	100.0	15.2	34.9	3.2	15.7	3.0	2.5	2.4	2.7	6.5	13.9

(2) 大学院修士課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	8.6	15.0	9.0	41.4	5.5	0.3	2.7	0.7	7.6	9.2
17	100.0	8.2	12.5	8.5	39.9	5.1	0.9	3.2	0.6	7.0	14.1
18	100.0	8.1	12.1	8.5	39.4	5.2	1.0	3.1	0.7	7.2	14.7
19	100.0	7.8	11.6	8.4	39.4	5.5	1.0	3.1	0.6	7.3	15.3
20	100.0	7.8	11.3	8.3	39.5	5.5	1.1	3.2	0.6	6.9	15.8
21	100.0	7.5	11.2	8.2	39.8	5.5	1.1	3.3	0.6	6.5	16.3
22	100.0	7.4	11.1	8.2	41.5	5.5	1.0	2.3	0.6	6.2	16.2

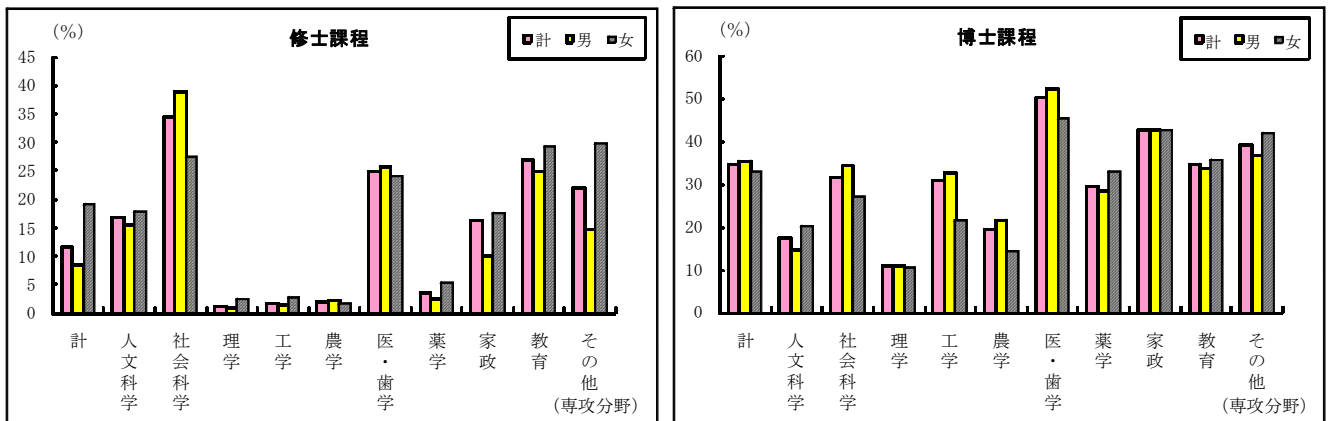
(3) 大学院博士課程

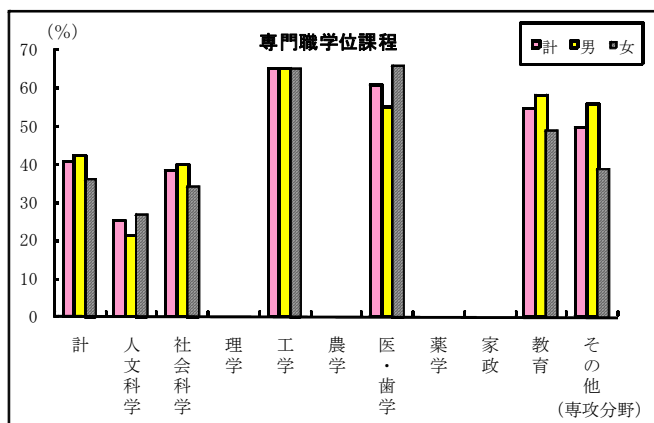
区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	11.0	9.9	10.3	18.9	6.7	29.2	1.6	0.3	2.5	9.6
17	100.0	10.2	10.1	8.6	18.6	5.8	26.9	1.8	0.5	2.5	15.0
18	100.0	10.2	10.0	8.3	18.5	5.8	26.4	1.8	0.5	2.5	16.0
19	100.0	10.3	10.0	7.7	18.6	5.7	26.3	1.9	0.5	2.6	16.4
20	100.0	10.1	9.9	7.2	18.5	5.5	26.7	1.8	0.5	2.7	17.1
21	100.0	9.9	9.7	7.0	18.4	5.4	26.8	1.8	0.5	2.9	17.6
22	100.0	9.5	9.4	6.9	18.6	5.2	27.3	1.8	0.5	2.9	17.9

(4) 大学院専門職学位課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
17	100.0	0.2	95.5	—	0.2	—	0.4	—	—	—	3.7
18	100.0	0.3	94.8	—	0.5	—	0.3	—	—	0.2	3.9
19	100.0	0.5	93.9	—	0.8	—	0.5	—	—	0.3	4.1
20	100.0	0.7	90.7	—	1.0	—	0.6	—	—	3.1	3.9
21	100.0	0.9	86.9	—	1.3	—	0.5	—	—	5.9	4.5
22	100.0	1.1	84.7	—	1.5	—	0.5	—	—	7.2	5.0

図2 専攻分野別社会人大学院学生の構成比





## (5) 入学状況 (表4, 表5)

### ア. 大学 (学部) への入学状況

大学学部への入学者数は、61万9千人 (国立10万1千人, 公立2万9千人, 私立48万9千人) で、前年度より1万人増加している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した大学の所在地県」との関係を見ると、大学 (学部) の入学者のうち、「自県 (大学の所在地県と同一県) 内の高校から入学した者の比率」は42.0% (前年度より0.5ポイント上昇) となっている。
- ② これを男女別にみると、男子は40.3% (前年度より0.5ポイント上昇), 女子は44.2% (前年度より0.5ポイント上昇) となっている。

### イ. 大学院への入学状況

大学院への入学者数は、修士課程では8万2千人 (男子5万9千人, 女子2万3千人) で、前年度より4千人増加しており、博士課程では1万6千人 (男子1万1千人, 女子5千人) で、前年度より6百人増加、専門職学位課程では9千人 (男子6千人, 女子3千人) で、前年度より3百人減少している。

修士課程の入学者数を年齢別にみると、「22歳」が4万2千人 (51.6%) で最も高く、次いで「23歳」1万9千人 (22.8%), 「24歳」6千人 (7.1%) 等の順となっている。

また、修士課程の入学者のうち、「社会人」は8千人 (9.6%), 「留学生」は8千人 (9.6%) である。博士課程の入学者数を年齢別にみると、「30～34歳」が3千2百人 (19.4%) で最も高く、次いで「24歳」2千7百人 (16.3%), 「25歳」2千4百人 (14.8%) 等の順となっている。

また、博士課程の入学者のうち、「社会人」は5千4百人 (32.7%), 「留学生」は2千8百人 (17.1%) である。

専門職学位課程の入学者数を年齢別にみると、「22歳」が2千2百人 (24.9%) で最も高く、次いで「23歳」1千5百人 (17.2%), 「30～34歳」1千1百人 (12.2%) 等の順となっている。

また、専門職学位課程の入学者のうち、「社会人」は3千6百人 (40.6%), 「留学生」は4百人 (4.1%) である。

専門職学位課程のうち法科大学院の入学者を年齢別にみると、「22歳」が1千3百人 (30.6%) で最も高く、次いで「23歳」1千人 (23.2%), 「24歳」4百人 (10.1%) 等の順となっている。

また、教職大学院の入学者を年齢別にみると、「22歳」が3百人 (31.7%) で最も高く、次いで「40～44歳」1百人 (18.3%), 「35～39歳」1百人 (13.8%) 等の順となっており、入学者のうち「社会人」が52.4%を占めている。

表4 入学状況（大学，大学院）

区分	学部入学状況							大学院入学者数								
	入学者数				自県内入学率			修士課程		博士課程		専門職学位課程				
	計	国立	公立	私立	計	男	女	うち社会人	うち社会人	うち社会人	うち法科大学院	うち教職大学院	うち社会人	うち社会人	うち社会人	
平成12	599,655	103,054	23,578	473,023	38.8	37.3	41.2	70,336	7,264	17,023	...	...	...	...	...	
17	603,760	104,130	26,050	473,580	40.1	38.6	42.2	77,557	7,957	17,553	4,709	5,969	3,044	3,516	...	
18	603,054	104,027	26,935	472,092	40.8	39.3	42.9	77,851	8,161	17,131	5,257	8,899	3,542	5,776	...	
19	613,613	102,455	26,967	484,191	41.0	39.4	43.2	77,451	8,470	16,926	5,417	9,059	3,328	5,709	...	
20	607,159	102,345	27,461	477,353	41.2	39.6	43.3	77,396	8,249	16,271	5,552	9,468	3,794	5,393	641	
21	608,731	101,847	28,414	478,470	41.5	39.8	43.7	78,119	8,192	15,901	5,314	9,247	3,794	4,843	747	
22	619,119	101,310	29,107	488,702	42.0	40.3	44.2	82,310	7,930	16,471	5,384	8,931	3,626	4,121	805	

表5 大学院の年齢別入学状況

(1) 修士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	61歳	計のうち	
											34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	60歳	以上	社会人	留学生
計	82,310	220	42,490	18,787	5,861	2,807	1,846	1,333	1,013	753	2,470	1,529	1,123	791	525	449	313	7,930	7,887
男	58,948	123	32,638	14,155	4,058	1,693	1,024	738	553	413	1,342	794	477	293	204	233	210	4,022	3,637
女	23,362	97	9,852	4,632	1,803	1,114	822	595	460	340	1,128	735	646	498	321	216	103	3,908	4,250

(2) 博士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	61歳	計のうち	
											34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	60歳	以上	社会人	留学生
計	16,471	-	8	123	2,686	2,439	1,636	1,241	1,025	952	3,193	1,267	677	527	349	205	143	5,384	2,819
男	11,238	-	6	98	2,010	1,740	1,098	804	658	657	2,211	822	417	292	198	129	98	3,642	1,522
女	5,233	-	2	25	676	699	538	437	367	295	982	445	260	235	151	76	45	1,742	1,297

(3) 専門職学位課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	61歳	計のうち	
											34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	60歳	以上	社会人	留学生
計	8,931	97	2,225	1,536	653	406	291	247	218	226	1,093	831	542	320	135	85	26	3,626	368
男	6,410	55	1,495	1,068	470	302	210	176	163	177	849	658	387	212	99	69	20	2,686	178
女	2,521	42	730	468	183	104	81	71	55	49	244	173	155	108	36	16	6	940	190

(再掲) 法科大学院

計	4,121	47	1,259	957	417	244	141	101	82	78	383	182	94	61	43	27	5	910	7
男	2,984	30	853	681	316	198	105	76	68	64	296	129	68	39	35	21	5	662	3
女	1,137	17	406	276	101	46	36	25	14	14	87	53	26	22	8	6	-	248	4

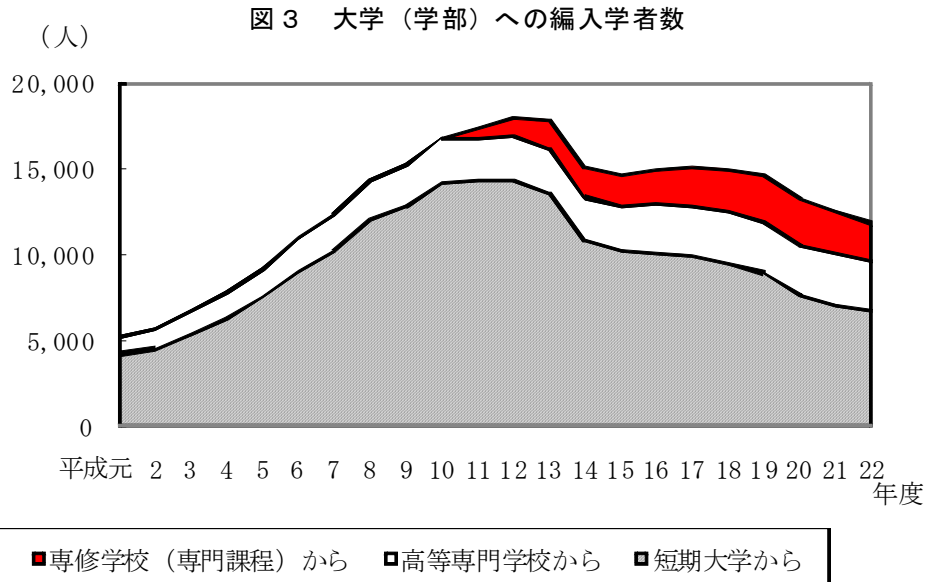
(再掲) 教職大学院

計	805	-	255	97	28	8	7	7	6	6	54	111	147	64	11	4	-	422	-
男	482	-	142	51	19	4	5	2	3	3	38	84	91	35	3	2	-	271	-
女	323	-	113	46	9	4	2	5	3	3	16	27	56	29	8	2	-	151	-

(注) 1. 平成22年5月1日現在の年齢である。  
2. (3) 専門職学位課程の入学者数には法科大学院の既修コースへの入学者を含む。

(6) 大学への編入学者数 (図3)

大学(学部)への編入学者数は、短期大学からの編入学者が6千7百人(男子1千9百人, 女子4千8百人), 高等専門学校からは2千9百人(男子2千6百人, 女子3百人), 専修学校(専門課程)からは2千2百人(男子1千人, 女子1千2百人)で、編入学総数は前年度より7百人減少している。



(7) 教員数(表6)

教員数は、本務者が17万4千人(国立6万2千人, 公立1万3千人, 私立10万人)で、前年度より2千人増加している。また、兼務者は18万5千人(国立3万8千人, 公立1万4千人, 私立13万3千人)で、前年度より5千人増加している。

表6 本務教員数(大学)

区分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女	人				
	人	人	人	人	人	人	%
平成12	150,563	130,249	20,314	60,673	10,513	79,377	13.5
17	161,690	134,740	26,950	60,937	11,426	89,327	16.7
18	164,473	135,876	28,597	60,712	11,743	92,018	17.4
19	167,636	137,113	30,523	60,991	11,786	94,859	18.2
20	169,914	137,862	32,052	61,019	12,073	96,822	18.9
21	172,039	138,509	33,530	61,246	12,402	98,391	19.5
22	174,403	139,349	35,054	61,689	12,646	100,068	20.1

## 2 短期大学

### (1) 学校数 (表7)

学校数は、395校（公立26校、私立369校。通信教育のみを行う学校（私立1校）を除く。）で、前年度より11校減少している。

表7 短期大学の設置者別学校数

区分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成12	572	20	55	497	86.9
17	488	10	42	436	89.3
18	468	8	40	420	89.7
19	434	2	34	398	91.7
20	417	2	29	386	92.6
21	406	2	26	378	93.1
22	395	-	26	369	93.4

### (2) 学生数 (表8)

学生数は、15万5千人（男子1万7千人、女子13万8千人）で、前年度より6千人減少している。また、学生数のうち本科学生は15万人、専攻科・別科等の学生は6千人となっている。

- ① 学生数を設置者別にみると、公立9千人（学生数の5.9%）、私立14万6千人（同94.1%）となっている。
- ② 学生数のうち女子学生の占める比率は、88.7%で、前年度より0.4ポイント減少している。

表8 学生数 (短期大学)

区分	計	うち			女子の占める比率	国立	公立	私立
		本科	女子	女子の占める比率				
	人	人	人	%	人	人	人	
平成12	327,680	318,258	293,690	89.6	7,772	21,061	298,847	
17	219,355	212,200	191,131	87.1	1,643	14,347	203,365	
18	202,254	195,233	177,162	87.6	597	11,909	189,748	
19	186,667	179,958	164,910	88.3	184	10,815	175,668	
20	172,726	166,448	153,518	88.9	52	10,565	162,109	
21	160,976	155,127	143,498	89.1	3	9,973	151,000	
22	155,273	149,633	137,791	88.7	-	9,128	146,145	

### (3) 関係学科別学生の構成 (表9)

本科学生の関係学科別構成比をみると、「教育」が30.4%で最も高く、次いで「家政」(20.1%)、「社会」(11.9%)、「人文」(11.8%)等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「人文」、「工業」の比率は年々低下してきている。

表9 関係学科別学生数の比率の推移（短期大学本科）

区 分	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	19.9	13.6	2.6	4.2	0.9	9.3	24.3	18.9	6.3
17	100.0	13.1	12.3	1.4	4.6	1.0	8.3	21.1	29.6	8.6
18	100.0	12.5	12.2	1.3	4.2	0.8	7.6	21.2	30.7	9.6
19	100.0	12.6	11.9	1.3	3.9	0.7	7.5	21.1	30.4	10.6
20	100.0	12.4	12.0	1.4	3.5	0.8	7.6	20.8	29.8	11.7
21	100.0	12.4	11.9	1.4	3.1	0.9	8.0	20.5	29.6	12.2
22	100.0	11.8	11.9	1.4	3.0	0.9	8.3	20.1	30.4	12.2

## (4) 入学状況（表10）

本科への入学者数は、7万2千人（公立4千人、私立6万8千人）で、前年度より1千人減少している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した短期大学の所在地県」との関係を見ると、本科の入学者のうち、「自県（短期大学の所在地県と同一県）内の高校から入学した者の比率」は65.1%で、前年度より1.1ポイント上昇している。
- ② これを男女別にみると、男子は57.4%（前年度より0.6ポイント上昇）、女子は66.1%（前年度より1.3ポイント上昇）となっている。

表10 入学状況（短期大学本科）

区 分	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率		
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女
	人	人	人	人	%	%	%
平成12	141,491	2,228	8,445	130,818	59.3	52.2	60.1
17	99,431	300	5,451	93,680	61.9	52.6	63.2
18	90,740	—	4,708	86,032	63.1	55.6	64.1
19	84,596	—	4,724	79,872	63.3	54.5	64.4
20	77,339	—	4,697	72,642	63.7	55.2	64.7
21	73,163	—	4,185	68,978	64.0	56.8	64.8
22	72,047	—	3,871	68,176	65.1	57.4	66.1

## (5) 教員数（表11）

教員数は、本務者が9千7百人（公立7百人、私立9千人）で、前年度より5百人減少している。また、兼務者は2万1千7百人（公立1千3百人、私立2万4百人）で、前年度より1千2百人減少している。

表11 本務教員数（短期大学）

区 分	計			国立	公立	私立	女子教員 の比率
	男	女	人				
	人	人	人	人	人	人	%
平成12	16,752	9,413	7,339	713	1,863	14,176	43.8
17	11,960	6,392	5,568	244	1,209	10,507	46.6
18	11,278	5,915	5,363	74	1,031	10,173	47.6
19	11,022	5,682	5,340	—	941	10,081	48.4
20	10,521	5,381	5,140	—	803	9,718	48.9
21	10,128	5,124	5,004	—	716	9,412	49.4
22	9,657	4,835	4,822	—	692	8,965	49.9



### 3 高等専門学校（表12）

#### （1）学校数

学校数は、58校（国立51校、公立4校、私立3校）で、前年度より6校減少している。

#### （2）学生数

学生数は、6万人（国立5万4千人、公立4千人、私立2千人）で、前年度より2百人増加している。  
このうち女子学生（9千人）の占める比率は15.7%で、前年度とほぼ同率となっている。

#### （3）入学者数

入学者数は、1万1千人（男子9千人、女子2千人）で、前年度より3百人減少している。

#### （4）教員数

教員数は、本務者が4千4百人（男子4千1百人、女子3百人）で、前年度とほぼ同数となっている。  
また、兼務者は2千1百人（男子1千7百人、女子4百人）で、前年度とほぼ同数となっている。

表12 学校数、学生数等の推移（高等専門学校）

区分	学校数（校）				学生数（人）					入学者数（人）					教員数 （本務者） （人）
	計	国立	公立	私立	計	うち女子	国立	公立	私立	計	うち女子	国立	公立	私立	
平成12	62	54	5	3	56,714	10,624	49,897	4,556	2,261	11,225	2,167	9,886	936	403	4,459
17	63	55	5	3	59,160	9,835	52,210	4,594	2,356	11,345	1,814	10,053	849	443	4,469
18	64	55	6	3	59,380	9,612	52,587	4,493	2,300	11,330	1,824	10,120	767	443	4,471
19	64	55	6	3	59,386	9,370	52,833	4,349	2,204	11,112	1,764	10,142	567	403	4,453
20	64	55	6	3	59,446	9,285	53,162	4,162	2,122	11,288	1,817	10,112	754	422	4,432
21	64	55	6	3	59,386	9,306	53,355	4,028	2,003	11,280	1,885	10,132	777	371	4,400
22	58	51	4	3	59,542	9,359	53,605	4,030	1,907	10,936	1,821	9,820	783	333	4,373

（注）「学生数」には、本科の学生のほか専攻科及び聴講生・研究生等の学生を含む。

### 4 大学・大学院・短期大学の通信教育（表13）

#### （1）学校数

通信による教育を実施している学校数は、大学53校（うち大学と大学院の両方で通信教育を行う学校は17校）、短期大学11校で、前年度より大学は1校増加し、短期大学は同数となっている。

#### （2）学生数

学生数は、大学22万4千人（男子9万6千人、女子12万9千人）、大学院8千人（男子5千人、女子3千人）、短期大学2万人（男子5千人、女子1万4千人）で、前年度より大学は2千人、短期大学は1千6百人それぞれ減少し、大学院はほぼ同数となっている。

- ① 正規の課程の学生数は、大学17万8千人（男子7万6千人、女子10万2千人）、大学院3千8百人（男子2千3百人、女子1千4百人）、短期大学1万8千人（男子5千人、女子1万3千人）で、前年度より大学は3千人、短期大学は1千6百人減少し、大学院はほぼ同数となっている。
- ② 正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が25.4%で最も高く、次いで「教育」16.5%等の順となっている。また、大学院修士課程では「人文科学」が21.2%で最も高く、次いで「社会科学」19.4%の順、大学院博士課程では「人文科学」が21.3%で最も高く、次いで「教育」が13.2%の順となっている。短期大学では「教育」が57.4%で最も高く、次いで「社会」が30.0%の順となっている。

(3) 入学者数（正規の課程）

正規の課程の入学者数は、大学1万5千人（男子7千人，女子8千人），大学院1千3百人（男子8百人，女子5百人），短期大学4千人（男子1千人，女子3千人）で，前年度より大学は1千1百人，短期大学は2百人それぞれ増加し，大学院はほぼ同数となっている。

表13 学校数，学生数，入学者数及び教員数（本務者）の推移  
（大学・大学院・短期大学〔通信教育〕）

区 分	大 学					大 学 院				
	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成12	校	人	人	人	人	校	人	人	人	人
	20	219,711	175,898	15,591	143	4	763	747	388	10
17	35	246,029	200,393	14,090	350	19	9,634	3,330	1,228	63
18	36	245,167	198,483	13,896	370	19	9,483	3,521	1,235	68
19	40	240,076	193,573	12,978	458	23	8,820	3,628	1,288	72
20	41	229,734	185,719	11,452	493	25	8,649	3,793	1,344	88
21	42	226,384	180,636	14,251	644	26	8,437	3,796	1,276	111
22	44	224,314	177,758	15,399	725	26	8,429	3,760	1,268	151

区 分	短 期 大 学				
	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成12	校	人	人	人	人
	10	28,108	26,622	5,285	32
17	9	28,424	26,773	5,842	45
18	8	28,456	26,929	5,532	31
19	9	25,227	23,796	4,375	34
20	10	22,622	21,130	3,560	39
21	11	21,164	19,479	4,029	40
22	11	19,588	17,907	4,236	31

(注) 大学及び大学院の「学校数」には，大学と大学院を併置する学校がそれぞれ含まれている。

## [卒業後の状況調査]

### 1 大学（学部）卒業生

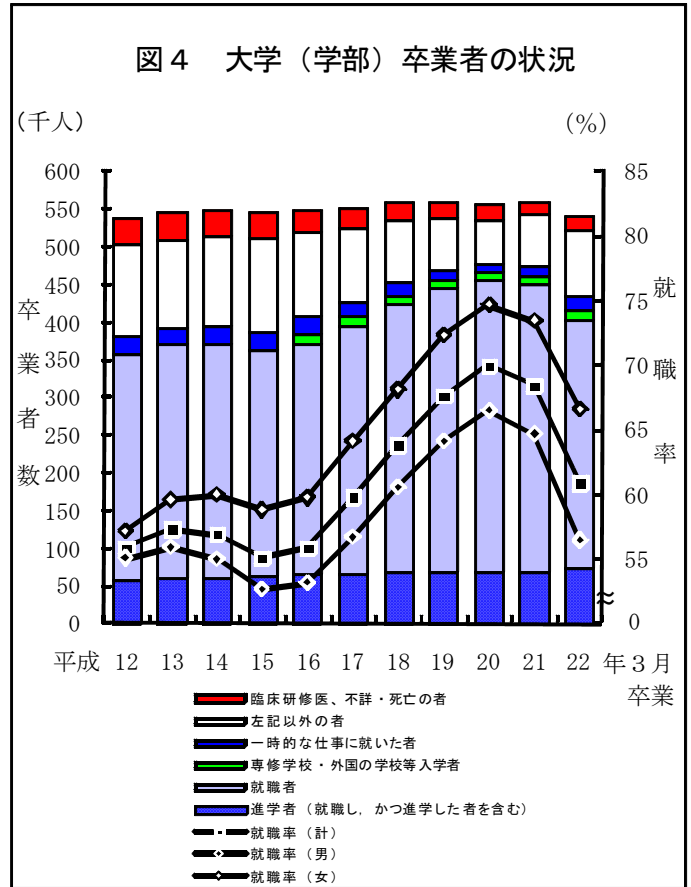
#### (1) 卒業生数

平成22年3月に大学（学部）を卒業した者（年度途中の卒業生を含む。以下同じ。）は、54万1千人（男子30万7千人、女子23万4千人）で、前年度より1万8千人減少している。

これを設置者別にみると、国立10万1千人（前年より2千1百人減）、公立2万5千人（5百人増）、私立41万5千人（1万7千人減）となっている。

#### (2) 卒業生の状況（図4、表14）

卒業生を状況別にみると、「大学院等への進学者」（就職し、かつ進学した者を含む。）7万3千人（全卒業生数の13.4%）「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）32万9千人（同60.8%）、「臨床研修医」（予定者を含む。以下同じ。）9千人（同1.7%）、「専修学校・外国の学校等入学者」1万4千人（同2.5%）、「一時的な仕事に就いた者」1万9千人（同3.6%）、「左記以外の者」8万7千人（同16.1%）、「不詳・死亡の者」1万1千人（同2.0%）となっている。



#### ア. 進学状況

- ① 大学院等への進学者数は、7万3千人（男子5万5千人、女子1万8千人）で、前年より4千人増加している。
- ② 進学率（卒業生のうち大学院等への進学者及び就職し、かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は、13.4%（男子17.8%、女子7.7%）で、前年より1.2ポイント上昇している。

#### イ. 就職状況（表15、図5～図9）

- ① 就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は、32万9千人（男子17万3千人、女子15万6千人）で、前年より5万3千人減少している。
- ② 就職率（卒業生数のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。）は、60.8%（男子56.4%、女子66.6%）で、前年より7.6ポイント低下している。
- ③ 就職率を関係学科別にみると、「家政」が73.1%で最も高く、次いで「教育」70.1%、「社会科学」68.5%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を産業別にみると、「卸売業、小売業」が16.4%で最も高く、次いで「製造業」12.6%、「医療、福祉」12.2%、「金融業、保険業」9.8%等の順となっている。  
また、男女別にみると、男子は「卸売業、小売業」17.4%、「製造業」15.9%、「情報通信業」8.8%等の順となっており、女子は「医療、福祉」19.0%、「卸売業、小売業」15.3%、「金融業、保険業」11.8%等の順となっている。

表 1 4 状況別卒業者の推移 (大学[学部])

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	臨床 研修医 (予定者 を含む)	専修学校 ・外国の 学校等 入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記 以外の 者	不詳 ・死亡 の者	(再掲) 左記 「進学者」の うち就職して いる者 (d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
											計	男	女
平成12年3月	538,683	57,663	300,687	5,929	…	22,633	121,083	30,688	31	10.7	55.8	55.0	57.1
17	551,016	66,108	329,045	7,903	12,061	19,507	97,994	18,398	80	12.0	59.7	56.6	64.1
18	558,184	67,298	355,778	9,293	12,039	16,659	82,009	15,108	42	12.1	63.7	60.5	68.1
19	559,090	67,175	377,734	9,105	9,990	13,287	69,296	12,503	42	12.0	67.6	64.0	72.3
20	555,690	67,372	388,417	8,851	8,971	11,485	59,791	10,803	63	12.1	69.9	66.4	74.6
21	559,539	68,422	382,434	9,051	9,843	12,991	67,894	8,904	51	12.2	68.4	64.6	73.4
22	541,428	72,539	329,132	8,944	13,500	19,332	87,174	10,807	58	13.4	60.8	56.4	66.6

(注) 1 「進学者」とは、大学院研究科、大学院学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者である。  
 2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが  
 明らかなる者である。

表 1 5 関係学科別就職率の推移 (大学 [学部])

区分	計	人文学	社会科学	理学	工学	農学	保健					商船	家政	教育	芸術	その他
							計	医学	歯学	薬学	その他					
平成12年3月	55.8	52.3	61.6	41.8	56.2	54.1	43.2	0.2	20.7	57.2	79.5	32.9	65.1	50.7	35.9	56.8
17	59.7	58.8	65.4	41.6	55.6	56.6	52.6	0.0	17.1	56.4	84.9	36.7	74.1	59.6	39.0	62.9
18	63.7	64.2	70.5	43.6	58.2	59.1	52.6	0.0	0.1	55.6	84.4	33.5	77.5	63.8	42.9	66.5
19	67.6	69.5	74.8	46.2	60.0	61.0	55.2	0.0	—	57.8	86.1	39.2	81.6	68.5	47.8	72.3
20	69.9	72.9	77.7	47.3	60.7	62.7	58.1	0.0	0.0	60.5	85.9	57.7	82.7	71.7	48.9	75.5
21	68.4	70.7	76.2	46.1	58.3	62.3	59.3	0.1	0.4	62.6	85.1	100.0	80.6	72.3	45.5	72.4
22	60.8	61.1	68.5	39.1	47.2	57.6	58.8	0.1	—	37.5	85.9	—	73.1	70.1	38.0	63.9

図5 産業別就職者数の比率(学部)

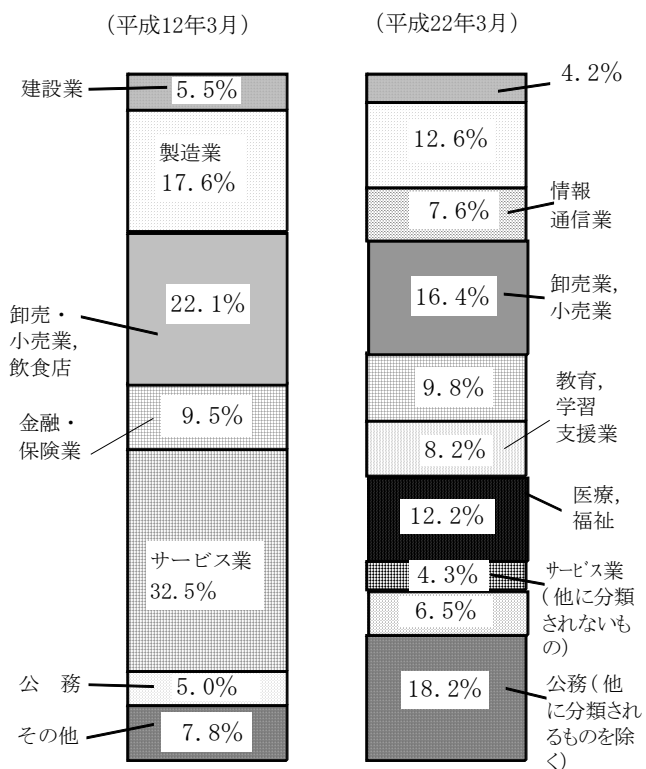
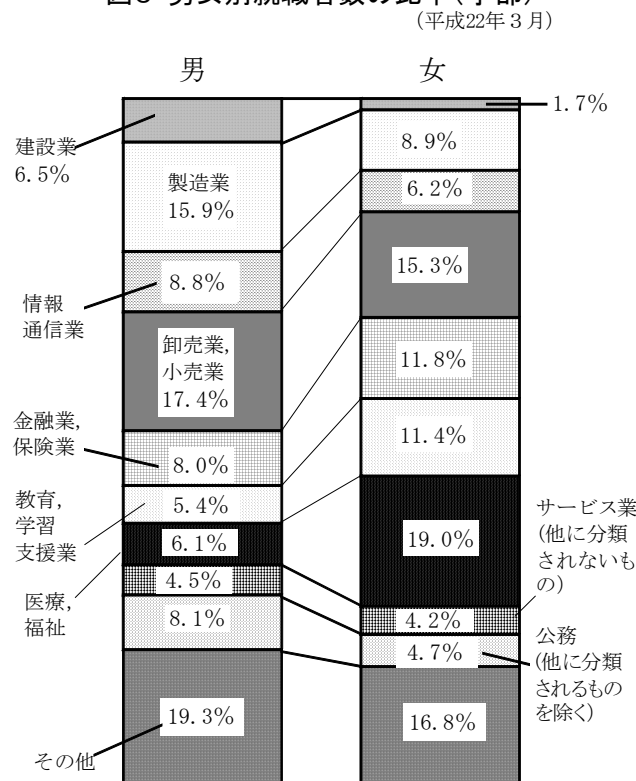


図6 男女別就職者数の比率(学部)



\* 平成19年11月の日本標準産業分類の改訂に伴い、調査項目を変更している (以下図14も同じ)。

⑤ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が34.0%（うち「技術者」13.3%、「教員」6.0%等）で最も高く、次いで「事務従事者」32.3%、「販売従事者」21.0%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「専門的・技術的職業従事者」32.2%（うち「技術者」20.3%、「教員」4.0%等）、「事務従事者」28.9%、「販売従事者」24.2%等の順となっており、女子は「事務従事者」36.1%、「専門的・技術的職業従事者」35.9%（うち「保健医療従事者」13.1%、「教員」8.2%、「技術者」5.6%等）、「販売従事者」17.6%等の順となっている。

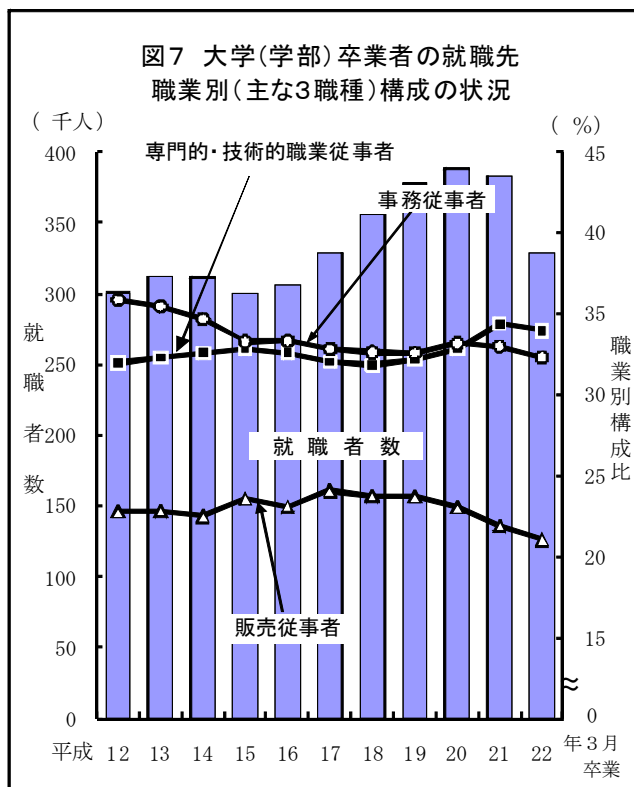


図8 職業別就職者数の比率(学部)

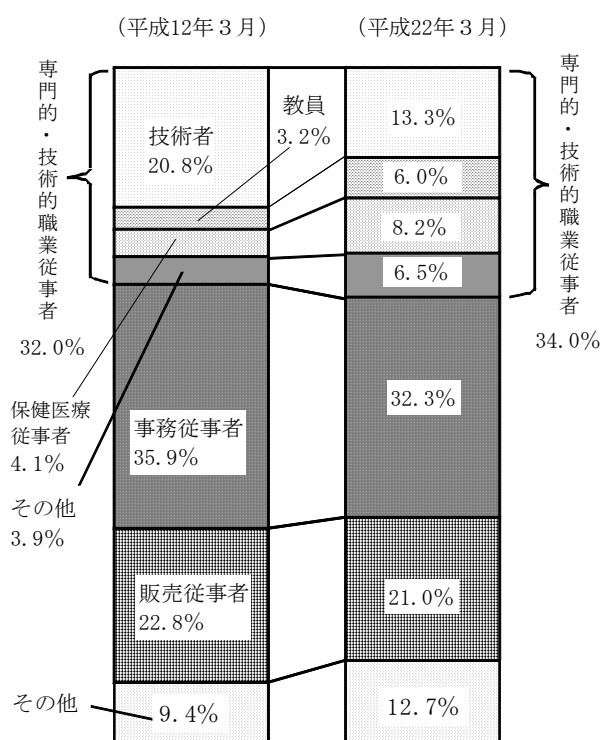
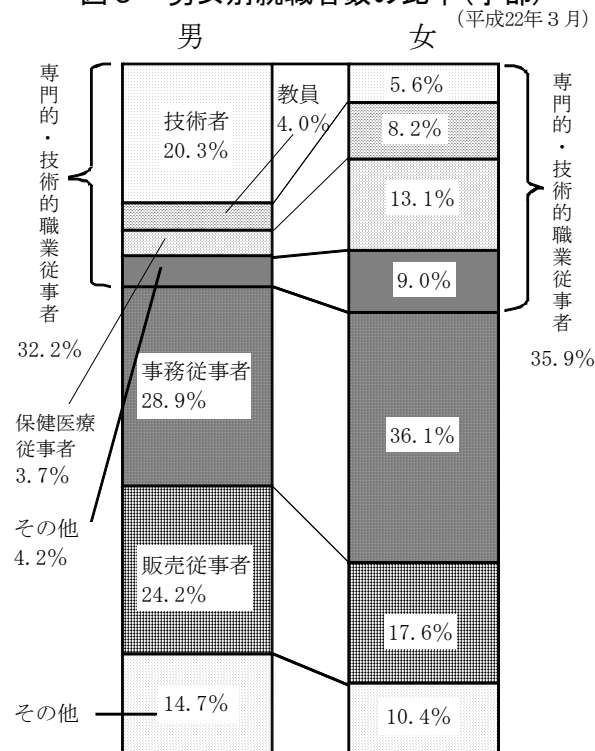


図9 男女別就職者数の比率(学部)



(3) 学部卒業者の修業年数別の卒業状況(表16)

ア. 修業年限4年の学部卒業者について、修業年限別の卒業状況は次のとおりとなっている。

① 所定の修業年数4年で卒業した者(平成18年4月に入学し、平成22年3月に卒業した者)は、45万3千人となっており、平成18年4月の入学者数59万1千人の76.7%(前年80.5%)にあたる。

- ② 修業年数5年で卒業した者（修業年限を1年超過－平成17年度入学－）は、4万5千人で、平成17年4月の入学者数の7.5%（前年7.0%）にあたる。
- ③ 修業年数6年で卒業した者（修業年限を2年超過－平成16年度入学－）は、1万2千人で、平成16年4月入学者数の2.0%（前年1.5%）にあたる。
- ④ 修業年数7年及び8年以上で卒業した者については、それぞれ0.5%、0.3%となっている。
- イ. 平成14年4月入学者について、平成22年3月までの卒業生（所定修業年数卒業生＋1年超過卒業生＋2年超過卒業生＋3年超過卒業生＋4年以上超過卒業生）の占める比率は88.3%となっており、平成13年4月の入学者が平成21年までに卒業した比率88.1%より0.2ポイント上昇している。
- ウ. 最短の修業年限で卒業した者の比率（a）の推移をみると、平成18年4月入学者の（a）は76.7%で、前年より3.8ポイント低下している。

表16 入学年度別卒業生の比率の状況(修業年限4年)(大学(学部))

(単位：%)

区分	入 学 年 度																	昭 和													
	平成18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	元	63	62	61										
卒業 年 ・ i 各 年 ・ j	平成2																					(a)	79.3								
	3																					(a)	(b)	80.4	8.5						
	4																					(a)	(b)	(c)	80.7	8.2	1.9				
	5																					(a)	(b)	(c)	(d)	81.2	8.2	1.8	0.5		
	6																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	81.5	8.2	1.8	0.5	0.3
	7																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	8																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	9																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	10																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	11																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	12																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	13																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	14																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	15																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	16																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	17																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	18																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	19																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	20																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	21																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	22																					(a)	(b)	(c)	(d)	(e)					
	計	76.7	88.0	89.3	88.8	88.3	88.1	88.5	89.1	89.6	89.7	91.1	91.5	91.8	92.0	92.4	92.8	92.4	92.1	91.5	91.2	90.5									

(注) (a) : 各年度の入学者のうち最低修業年限の4年で卒業した者の比率  
 (b) : " 5年(1年超過) "  
 (c) : " 6年(2年超過) "  
 (d) : " 7年(3年超過) "  
 (e) : " 8年以上(4年以上超過) "

## 2 大学院修了者

### (1) 修了者数

平成22年3月に大学院の修士課程を修了した者は、7万3千人（男子5万1千人，女子2万2千人）で、前年より6百人減少している。博士課程を修了した者（所定の単位を修得し、学位を取得せずに満期退学した者を含む。以下同じ。）は、1万6千人（男子1万1千人，女子4千人）で、前年より6百人減少している。また、専門職学位課程を修了した者は、8千7百人（男子6千3百人，女子2千4百人）で、前年より4百人増加している。

これを設置者別にみると、修士課程では国立4万2千人（修了者の57.4%）、公立4千人（同6.0%）、私立2万7千人（同36.6%）となっており、博士課程では国立1万1千人（修了者の71.6%）、公立9百人（同5.7%）、私立3千6百人（同22.7%）となっている。また、専門職学位課程では、国立3千人（修了者の33.9%）、公立3百人（同3.2%）私立5千4百人（同62.8%）となっている。

### (2) 修了者の状況

#### ア. 修士課程（図10）

修了者の状況別内訳は、「大学院等への進学者」9千人（修了者の11.7%）、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）5万2千人（同71.1%）、「左記以外の者」9千人（同11.9%）、「不詳・死亡の者」2千人（同3.1%）となっている。

- ① 進学率は、11.7%（男子11.5%、女子12.2%）で、前年より0.9ポイント上昇している。
- ② 就職率は、71.4%（男子76.0%、女子60.7%）で、前年より3.4ポイント低下している。
- ③ 就職者総数を産業別にみると、「製造業」が40.7%と最も高く、次いで「情報通信業」10.1%、「教育、学習支援業」9.9%、「医療、福祉」6.4%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が78.2%（うち「技術者」54.5%、「教員」7.7%、「科学研究者」5.0%等）で最も高く、次いで「事務従事者」12.8%、「販売従事者」2.6%等の順となっている。

#### イ. 博士課程（図11）

修了者の状況別内訳は、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）1万人（修了者の61.7%）、「左記以外の者」3千人（同20.0%）、「不詳・死亡の者」2千人（同9.8%）等となっている。

- ① 就職率は、61.9%（男子65.4%、女子53.2%）で、前年より2.4ポイント低下している。
- ② 就職者総数を産業別にみると、「教育、学習支援業」が36.0%で最も高く、次いで「医療、福祉」23.6%、「製造業」15.1%等の順となっている。
- ③ 就職者総数を職業別にみると、「教員」26.4%、「科学研究者」24.5%、「医師、歯科医師、獣医師、薬剤師」21.9%、「技術者」15.4%等「専門的・技術的職業従事者」が93.0%を占めている。

#### ウ. 専門職学位課程（図12）

修了者の状況別内訳は、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）3千人（修了者の34.5%）、「左記以外の者」4千7百人（同54.3%）、「不詳・死亡の者」6百人（同7.1%）等となっている。

- ① 就職率は、34.8%（男子36.1%、女子31.2%）で、前年より4.3ポイント上昇している。
- ② 就職者総数を産業別にみると、「教育、学習支援業」が19.0%と最も高く、次いで「製造業」16.5%、「学術研究、専門・技術サービス業」8.7%等の順となっている。
- ③ 就職者総数を職業別にみると、「事務従事者」が42.3%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業従事者」35.7%（うち「教員」16.9%、「技術者」7.4%等）、「管理的職業従事者」10.6%等の順となっている。

図 10 大学院（修士課程）修了者の状況

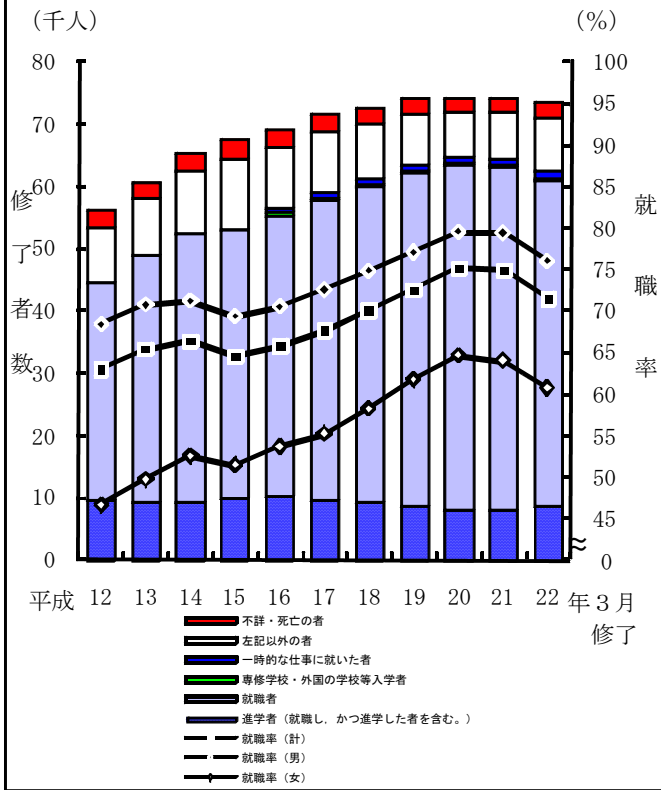


図 11 大学院（博士課程）修了者の状況

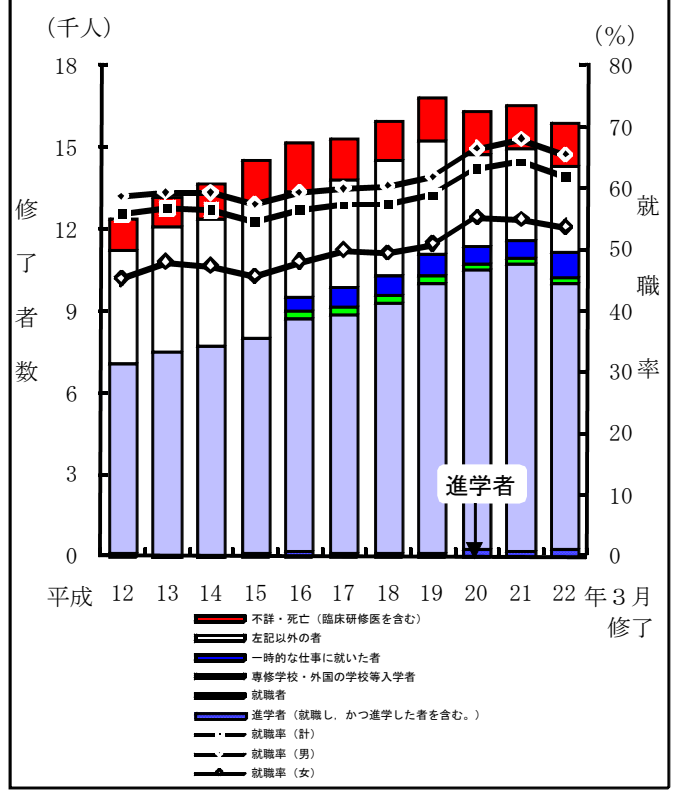
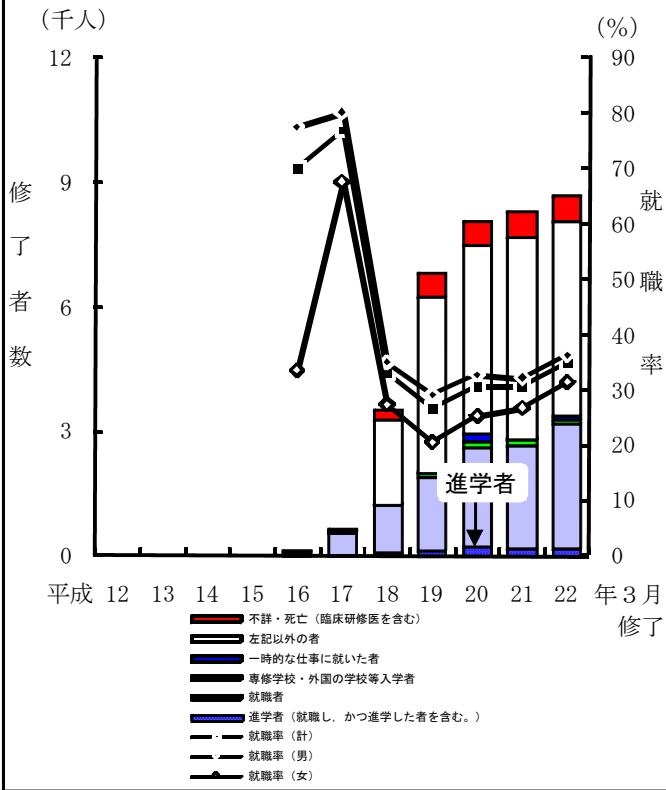


図 12 大学院（専門職学位課程）修了者の状況





### 3 短期大学卒業生

#### (1) 卒業生数

平成22年3月に短期大学（本科）を卒業した者は、7万1千人（男子7千人、女子6万4千人）で、前年より7千人減少している。

これを設置者別にみると、公立4千人（前年とほぼ同数）、私立6万7千人（前年より7千人減）となっている。

#### (2) 卒業生の進路（表17、図13）

卒業生の進路別内訳は、「大学等への進学者」（就職し、かつ進学した者を含む。以下同じ。）8千4百人（全卒業生の11.7%）、「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）4万7千人（同65.4%）、「専修学校・外国の学校等入学者」1千7百人（同2.4%）、「一時的な仕事に就いた者」3千9百人（同5.4%）、「左記以外の者」1万人（同14.0%）、「不詳・死亡の者」7百人（同1.0%）となっている。

##### ア. 進学状況

- ① 大学等への進学者数は、8千4百人（男子1千9百人、女子6千5百人）で、前年より6百人減少している。
- ② 進学率（卒業者のうち大学等への進学者の占める比率。以下同じ。）は、11.7%（男子27.2%、女子10.1%）で、前年より0.2ポイント上昇している。

##### イ. 就職状況（表18、図14～図16）

- ① 就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は、4万7千人（男子3千人、女子4万3千人）で、前年より8千人減少している。
- ② 就職率（卒業者のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。）は、65.4%（男子48.0%、女子67.3%）で、前年より4.5ポイント低下している。
- ③ 就職率を関係学科別にみると、「保健」が83.5%で最も高く、次いで「教育」81.2%、「社会」65.4%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を産業別にみると、「医療、福祉」が45.9%で最も高く、次いで「教育、学習支援業」13.6%、「卸売業、小売業」11.8%等の順となっている。
- ⑤ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」61.0%（うち「保健医療従事者」17.7%、「教員」11.5%等）で最も高く、次いで「事務従事者」18.8%、「販売従事者」9.5%等の順となっている。

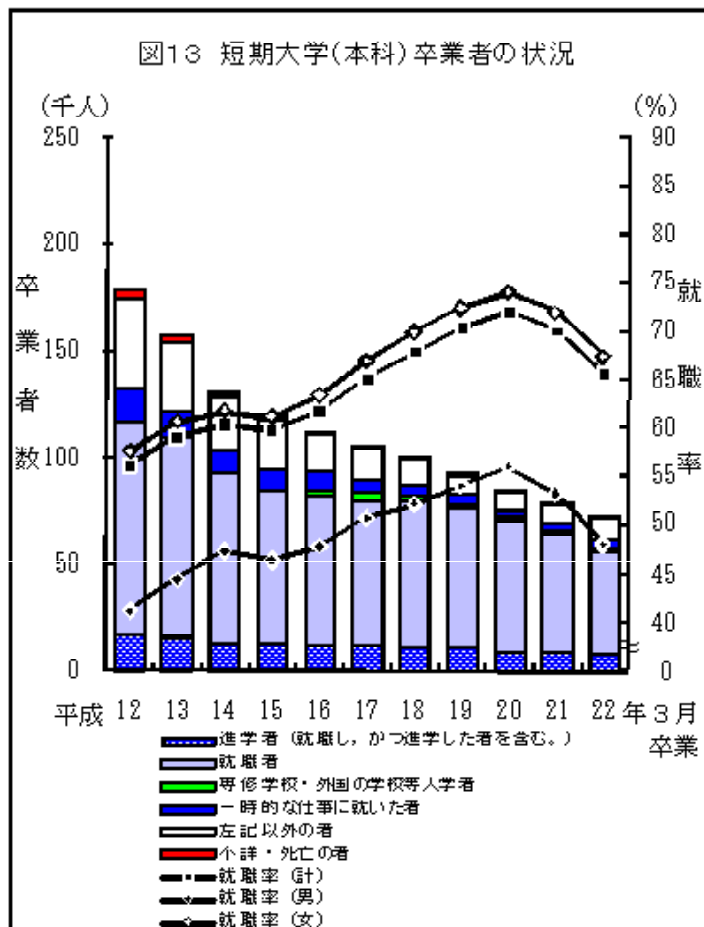


表17 状況別卒業生の推移（短期大学〔本科〕）

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・外国の 学校等 入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記 以外の 者	不詳 ・死亡 の者	(再掲) 左記 「進学者」の うち就職して いる者 (d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
										計	男	女
平成12年3月	177,909	16,807	99,641	…	16,217	41,704	3,540	12	9.4	56.0	41.3	57.4
17	104,621	12,043	68,023	2,990	6,655	13,829	1,081	12	11.5	65.0	50.6	66.8
18	99,611	11,678	67,476	2,579	5,177	11,899	802	4	11.7	67.7	52.1	69.8
19	92,100	11,026	64,623	2,120	4,285	9,452	594	—	12.0	70.2	54.0	72.3
20	83,900	9,525	60,413	1,853	3,215	8,400	494	1	11.4	72.0	55.9	74.0
21	78,056	9,005	54,585	1,553	3,450	9,037	426	2	11.5	69.9	53.1	71.9
22	71,394	8,385	46,722	1,728	3,880	9,986	693	1	11.7	65.4	48.0	67.3

(注) 1 「進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者である。

2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかなる者である。

表 18 関係学科別就職率の推移（短期大学〔本科〕）

(%)

区分	計	人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
平成12年3月	56.0	46.6	58.0	52.7	53.4	46.3	75.9	54.1	72.9	27.9	60.8
17	65.0	51.2	65.4	59.2	58.4	43.1	75.3	64.1	78.2	32.8	55.8
18	67.7	54.7	69.2	62.5	62.3	46.6	74.9	68.6	78.3	34.4	58.9
19	70.2	56.1	72.1	76.5	61.9	44.7	78.7	70.6	80.1	34.9	66.8
20	72.0	57.9	73.7	75.8	64.5	45.1	78.1	73.2	81.6	36.7	69.6
21	69.9	53.7	72.0	71.5	62.1	35.8	80.8	69.5	81.8	35.3	65.9
22	65.4	44.5	65.4	61.5	52.3	33.5	83.5	63.2	81.2	32.7	60.2

図14 産業別就職者数の比率(本科)

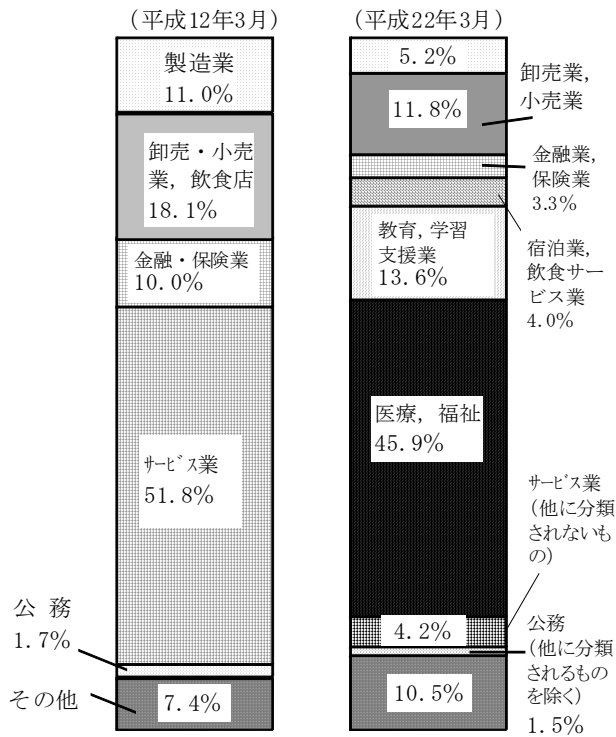


図 15 職業別就職者数の比率（本科）

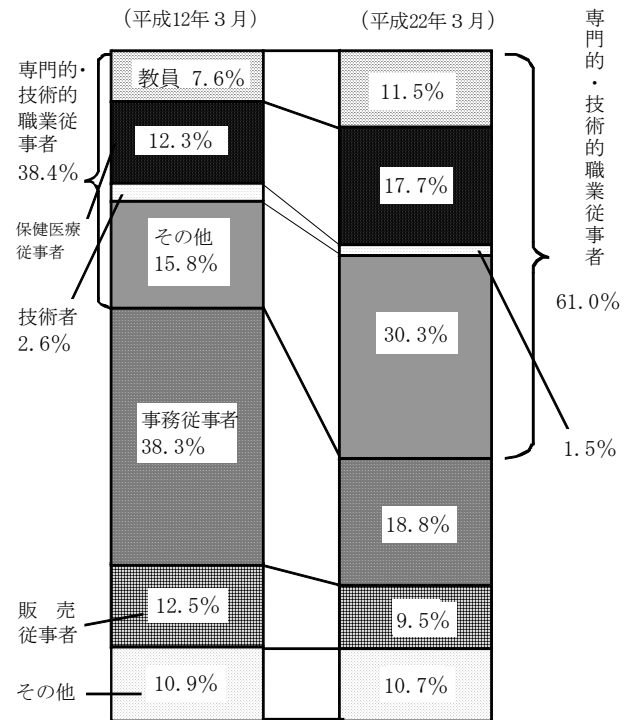
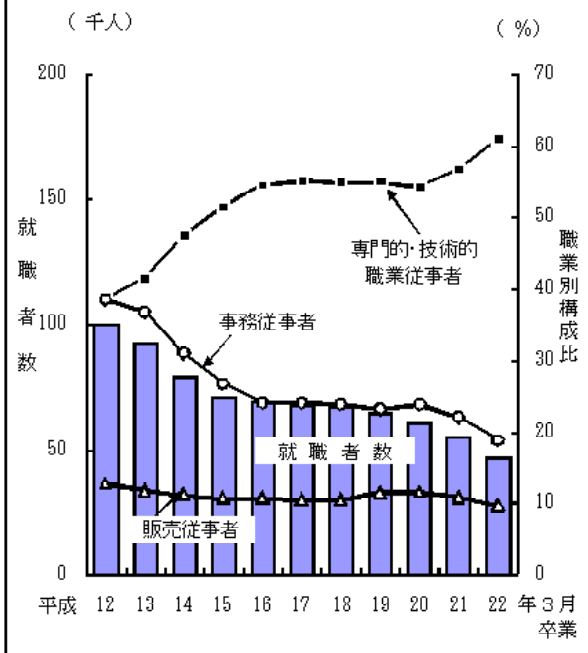


図 16 短期大学(本科)卒業者の就職先職業別(主な3職種)構成の状況



## 4 高等専門学校卒業生

### (1) 卒業生数

平成22年3月に高等専門学校を卒業した者は、1万1百人（男子8千5百人，女子1千6百人）で、前年より3百人減少している。

これを設置者別にみると、国立9千人，公立7百人，私立4百人となっている。

### (2) 卒業生の進路（表19，図17）

卒業生の進路別内訳は、「大学等への進学者」4千5百人（全卒業生数の44.5%）、「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5千2百人（同51.5%）、「左記以外の者」2百人（同2.4%）等となっている。

#### ア. 進学状況

- ① 大学等への進学者数は，4千5百人（男子4千人，女子5百人）で，前年とほぼ同数となっている。
- ② 進学率は，44.5%（男子47.1%，女子30.6%）で，前年より1.5ポイント上昇している。

#### イ. 就職状況

- ① 就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は，5千2百人（男子4千2百人，女子1千人）で，前年より4百人減少している。
- ② 就職率は，51.5%（男子49.2%，女子63.9%）で，前年より2.1ポイント低下している。
- ③ 就職者総数を産業別にみると，「製造業」が49.9%と最も高く，次いで「情報通信業」11.9%，「電気・ガス・熱供給・水道業」9.5%，「建設業」8.5%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」91.5%（うち「技術者」91.2%等）が最も高く，次いで「運輸・通信従事者」3.4%，「サービス職業従事者」2.1%等の順となっている。

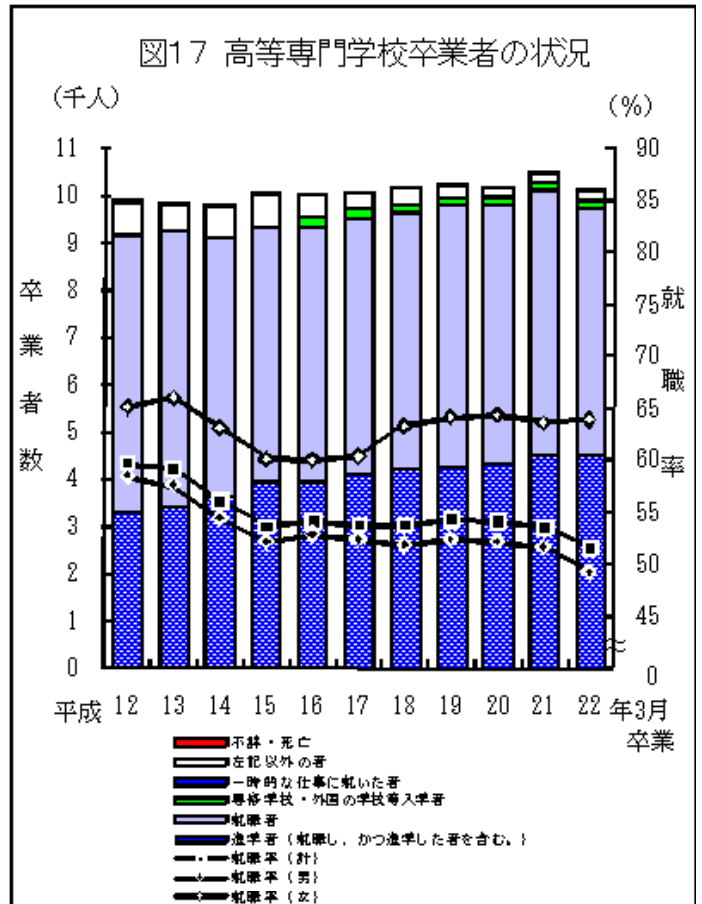


表19 状況別卒業生の推移（高等専門学校）

区分	計 (a)	大学等への進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	不詳・死亡の者	(再掲) 左記「進学者」のうち就職している者 (d)	進学率 (b/a) ×100	就職率 (c+d)/a ×100
	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%
平成12年3月	9,849	3,306	5,878	…	…	664	1	1	33.6	59.7
17	10,061	4,113	5,413	192	6	337	—	2	40.9	53.8
18	10,140	4,201	5,455	174	2	308	—	2	41.4	53.8
19	10,207	4,252	5,546	159	5	244	1	—	41.7	54.3
20	10,160	4,316	5,501	146	2	195	—	1	42.5	54.2
21	10,474	4,504	5,610	155	9	195	1	—	43.0	53.6
22	10,126	4,506	5,219	155	5	241	—	—	44.5	51.5

(注) 1 「大学等への進学者」とは，大学学部，短期大学本科，大学・短期大学の専攻科，別科へ進学した者である。

2 「左記以外の者」とは，家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかな者である。

## [学校施設調査]

### (1) 学校土地面積 (表20)

学校土地面積は、大学15億1,963万㎡、短期大学1,021万㎡、高等専門学校633万㎡で、前年度に比べ、大学ではいずれも増加し、短期大学ではいずれも減少し、高等専門学校ではほぼ横ばいとなっている。

**表20 学校土地面積**

(千㎡)

区 分	大 学					短 期 大 学				高 等 専 門 学 校			
	計	国 立	公 立	私 立	放送大学 学 園 立	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立
平成12年度	1,500,170	1,330,045	13,937	156,137	52	21,864	296	4,494	17,074	6,307	5,699	440	168
17	1,506,002	1,326,655	15,243	164,104	(63)	16,777	195	3,573	13,009	6,472	5,855	440	178
18	1,510,983	1,330,164	15,576	165,243	(65)	14,480	19	3,015	11,445	6,199	5,749	272	178
19	1,515,215	1,331,827	17,609	165,779	(65)	11,946	—	869	11,077	6,315	5,865	272	178
20	1,515,564	1,332,023	17,738	165,803	(65)	10,950	—	795	10,154	6,320	5,865	272	183
21	1,517,947	1,332,030	18,701	167,217	(87)	10,671	—	704	9,966	6,321	5,866	272	183
22	1,519,625	1,332,756	19,050	167,819	(87)	10,214	—	678	9,536	6,332	5,877	272	183

(注) 放送大学学園の( )内の数値は私立の再掲である。

### (2) 学校建物面積 (表21)

学校建物面積は、公立大学480万㎡、私立大学4,085万㎡、公立短期大学26万㎡、私立短期大学321万㎡、公立高等専門学校12万㎡、私立高等専門学校6万㎡で、前年度に比べ、大学ではいずれも増加し、短期大学ではいずれも減少し、高等専門学校では横ばいとなっている。

**表21 学校建物面積**

(千㎡)

区 分	大 学			短 期 大 学		高 等 専 門 学 校	
	公 立	私 立	放送大学 学 園 立	公 立	私 立	公 立	私 立
平成12年度	3,838	29,968	67	613	5,536	134	54
17	4,412	35,884	(87)	438	4,190	139	56
18	4,562	36,942	(88)	402	3,739	122	55
19	4,497	38,197	(89)	371	3,644	122	56
20	4,553	39,036	(89)	323	3,440	122	56
21	4,667	40,154	(110)	270	3,378	122	56
22	4,799	40,846	(110)	258	3,205	122	56

(注) 放送大学学園の( )内の数値は私立の再掲である。

## [学校経費調査]

### (1) 国・公立大学等の経費 (表22)

国立は2兆9,839億円, 公立は5,112億円で, 前年度に比べ, 国立短期大学, 公立短期大学及び公立附置研究所は減少し, 他の学校種は増加している。

**表22 国・公立大学等の経費**

(単位 百万円)

区 分	国 立					公 立					放送大学 学 園 立
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	大 学
平成11 会計年度	2,272,700	1,473,891	14,974	687,752	96,083	697,242	433,804	43,457	213,458	6,523	16,901
16	2,203,048	1,327,964	5,134	765,715	104,236	499,758	268,265	26,611	200,196	4,686	...
17	2,681,732	1,705,821	4,349	860,497	111,065	485,362	264,372	22,786	194,740	3,465	...
18	2,431,349	1,439,894	1,754	876,078	113,624	486,920	270,644	16,810	196,217	3,249	...
19	2,599,675	1,545,909	290	934,208	119,267	487,141	275,226	15,655	192,261	3,999	...
20	2,682,728	1,592,768	39	972,236	117,685	506,472	287,096	14,914	199,871	4,592	...
21	2,983,885	1,778,006	6	1,066,657	139,216	511,188	290,200	13,359	203,291	4,338	...

### (2) 国・公立大学法人立の高等専門学校等の経費 (表23)

前年度に比べ, いずれの学校種も増加している。

**表23 国・公立大学法人立の高等専門学校等の経費**

(単位 百万円)

区 分	高 等 専 門 学 校	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	特 別 支 援 学 校	専 修 学 校	各 種 学 校
平成11 会計年度	101,870	3,317	21,940	18,105	7,813	...	16,230	395	44
16	79,633	3,500	19,456	17,397	6,259	933	14,810	288	...
17	87,522	3,651	21,347	17,969	7,024	1,177	15,394	244	...
18	83,835	3,490	21,811	19,814	7,658	928	15,590	106	...
19	85,662	3,640	22,918	21,573	7,313	1,740	15,387	168	...
20	89,371	3,592	23,278	18,865	7,177	1,807	15,475	126	...
21	92,675	4,275	23,638	22,587	7,715	3,067	16,405	164	...

(注) 「特別支援学校」の平成18会計年度以前は, 「盲・聾・養護学校」の経費を計上している。

(3) 国・公立大学の授業料等及び補助金収入（表24）

授業料等収入は、国立1兆5,012億円、公立3,167億円で、前年度に比べ、国立短期大学、公立短期大学及び公立附置研究所は減少し、他の学校種は増加している。

表24 国・公立大学の授業料等及び補助金収入

(単位 百万円)

区分	授 業 料 等 収 入											補 助 金 収 入			
	国 立					公 立					放送大学 学 園 立	公 立			放送大学 学 園 立
	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	計	大 学	短 期 大 学	附 属 病 院	附 置 研 究 所	大 学	計	大 学	短 期 大 学	大 学
平成11 会計年度	951,476	392,396	3,624	542,581	12,875	241,389	66,065	9,918	165,374	32	4,201	2,890	2,856	34	11,448
16	1,165,629	512,182	1,349	628,865	23,233	260,227	88,403	8,022	163,409	394	...	2,637	2,598	39	...
17	1,358,677	631,467	1,188	697,602	28,419	265,190	92,793	6,746	165,435	216	...	33,407	33,387	20	...
18	1,333,209	586,096	743	716,257	30,114	273,927	98,320	5,851	169,560	196	...	80,020	79,458	562	...
19	1,396,678	596,951	102	766,064	33,560	286,137	104,534	5,450	175,898	254	...	96,047	92,679	3,368	...
20	1,468,945	622,910	15	813,257	32,763	302,397	113,250	5,404	183,315	429	...	99,073	95,181	3,892	...
21	1,501,150	633,141	1	830,853	37,155	316,663	117,343	4,714	194,186	420	...	123,099	118,951	4,148	...

(4) 国・公立大学法人立の高等専門学校等の授業料等収入（表25）

授業料等収入は前年度に比べ、いずれの学校種も減少している。

表25 国・公立大学法人立の高等専門学校等の授業料等収入

(単位 百万円)

区分	授 業 料 等 収 入									補助金収入
	高 等 専 門 学 校	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	中 等 教 育 学 校	特 別 支 援 学 校	専 修 学 校	各 種 学 校	公立大学法人立 高等専門学校
平成11 会計年度	11,813	576	104	165	1,172	...	17	63	5	...
16	13,369	595	120	151	1,147	99	26	44	...	...
17	15,130	585	142	158	1,159	99	23	37	...	...
18	15,125	573	124	166	1,140	99	27	20	...	...
19	15,794	568	105	142	1,177	109	18	28	...	...
20	18,285	561	125	138	1,326	101	32	28	...	2,529
21	17,761	547	116	137	1,312	99	31	27	...	2,419

(注) 「特別支援学校」の平成18会計年度以前は、「盲・聾・養護学校」の授業料等収入を計上している。